

議事録

【会議名称】令和7年度 第1回朝霞地区在宅医療・介護連携推進会議

【日時】令和7年5月19日（月）15:30～17:00

【会場】和光市総合福祉会館3階 第2会議室

【出席者】別紙参照

【議題】（1）令和6年度朝霞地区在宅医療・介護連携推進事業報告
 （2）令和7年度朝霞地区在宅医療・介護連携推進事業計画
 （3）グループワーク

テーマ「語りましょう！朝霞地区の医介連携は進んでいる？課題は？」

（4）その他

議題（1）令和6年度朝霞地区在宅医療・介護連携推進事業報告

議題（2）令和7年度朝霞地区在宅医療・介護連携推進事業計画

事務局より資料に沿って報告

議題（3）グループワーク

「語りましょう！朝霞地区の医介連携は進んでいる？課題は？」

	① 進んだと感じていること	② 課題は？
山口 大谷地 稲垣 町田 増田	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援ルールマニュアルは浸透している ・県全体、リーフレットの活用は低い ・在宅医とのMCS、個別ケースでは良いツール ・一方通行になってしまうのが問題 ・報告書、MCSで良いのか ・各組織の連携で情報拡散が行える仕組みづくりができ始めた ・和光市では、お茶会、医師会、リハ等とのコラボで車椅子のシーティング等行い、つながりができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・MCS：運用の整備 ・各職種がそれぞれ良いことをやっているが、情報の拡散が弱い ・市民は何かあったら入院できると思っている。訪問診療率が低い ・連携が進んでいるため、家族の意向をかなえ易くなった反面、入院させて欲しいという ・情報が届いて欲しい人に届かない
中尾 川淵 本多 堀川	<p>（入退院支援手引き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院では書式が決まっている、連携シート等参考にしている ・家族へ入院時必要なものを案内する時に活用（訪問歯科） ・退院したら対応依頼が来る。入れ歯の紛失による依頼（病院に出向） ・基本情報は初診時の資料になっている（急変時対応） ・施設では救急とならないように事前に医師に相談している ・訪問診療時、医師が本人・家族にACPを毎回行う。（包括同席） ・初回にエンディングノートを渡す医師もいる 	<p>（入退院支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設では嘱託医の医療機関に入院することが多い ・骨折時の病院等連携が図れている。 ・埼玉病院との連携は電子でやりとり（MCS） ・ツールはFAXとMCS、急ぎは電話 ・MCSはとばされることもあるので、大事なことはFAX ・施設では医師は毎週くるので、それ以外はFAX ＊情報は用途に合わせてMCSであったりと選んでいく（対面・FAX・MCS・電話）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ACP の研修は、市やケア会議に ACP の視点をいれている ・施設では、看取りについて入所時に話をするが近づいてきたら医師から再度現状を話してもらう。 (職員・家族同席) ・グループホームでも看取りを進めているところもある 	
沖 赤岩 上島 恩田 辻 木下	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで地域カフェがストップしていたが ZOOM で再開、R6 対面での開催し行政も一緒 ・志木：エンディングノート（市民向けと支援者向け）を簡単にして普及啓発。 ・口腔の位置づけ、それぞれの行政と契約してかわりを持つ ・幅広に職域の会議はレアで意識の高さを感じる。 ・この地域は医療介護の資源はそれなりにある。栄養士も他に比べれば多い。4 市行政があるので中心がぼけやすい（木下先生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4 市がそれぞれで良いことをやっているが、ばらばらでもったいないと感じることもある。 ・地域によって病院が自発的に動けるところがあったりなかったり。→情報共有が重要 ・認知症の連携が足りていない。認知症サポート医がいない、いても活用できない。 ・病院側 MCS のメリット感じない。病院側のルールの問題もある ・MCS ある程度みんなが使わないと進まない ・在宅医が増えている。
浅井 富田 森田 浦山 鈴木	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4 年の活動でそれぞれの分野で少しずつ進んでいると思う。 ・地域包括ケアが形として見えてきた。 ・医療の知識、健康寿命、ACP も含めて医師が説明をする。 ・会議参加で連携の深まりは理解 ・4 市外からの患者が少ない。4 市内で完結できているのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の医師に介護について知ってもらいたい ・現場職員に浸透させるには病院の体制等変化が必要 ・予防事業、病気にしない、健康寿命を延ばすこと大事 ・MCS、患者グループで情報共有、ケアマネだけでなく施設、入浴サービス等の事業所にも入って欲しい ・MCS 部署ごとに加入がまちまち ・介護が入らない人へのフォローは行政

議題（3）その他

◆事務局より

・次回推進会議開催日程について承認を得た。

***** 次回開催 *****

【日 時】令和 7 年 9 月 29 日（月） 15：30～

【場 所】和光市総合福祉会館 3 階 会議室 2

記録：奥